第13回国勢調査（55年10月）まとまる

5年で34,597人（8.2%）増

第十三回国勢調査（昭和五十五年十月一日実施）の結果がこのほどまとまりました。それによると、①新潟市の人口規模は四十五万七千七百八十五人で、前回より八・二%増加②坂井輪地区が市内最大地区になる一方、新潟島の人口減少が目立つ③老年人口の増加が著しい④昼間人口が五十万人の大台を超えた⑤産業別では第三次産業就業者が七〇%を占めた⑥一世帯の平均規模は三・二一人で、老人夫婦のみ・老人一人世帯が急増している――などがわかりました。以下、その内容を紹介します。

なお、これらの資料についての問い合わせは市行政管理課統計係へ。

総人口

新潟市の総人口は、四十五万七千七百八十五人で、前回（昭和五十年）と比べると、三万四千五百九十七人、八・二%増加しました。第一回調査（大正五年）からの六十年間では約三十二万人増加しました。

県人口に占める割合は十八・七%（前回十七・六%）で、新潟市の県内における人口比重は依然高まる傾向にあります。また、人口増加率八・二%は、県内二十市の中で、豊栄市一一・四%に次いで二番目の高さです。

国勢調査

わが国の人口状況を明らかにするため、大正九年以来ほぼ五年ごとに実施、今回の調査は十三回目に当たります。

▼調査時期…昭和五十五年十月一日

▼調査対象…調査時に調査の地域に常住している者

人口の地域分布

坂井輪地区 市内最大に
―7万人超す―

新潟市を十八地区に分けて人口の地域分布をみると、坂井輪地区が七万人を超えて市内最大地区になりました。以下、沼垂、鳥屋野、山の下と続き、四地区だけで総人口の五一・七%を占めています。

全国22位の人口

全国の都市（東京都区部を除く）の中では、静岡市に次いで二十二番目の人口規模になります。

石山地区 5年で65%増

五年間の人口増減は、増加地区が十一、減少地区が七。増加地区の中では、石山地区が六五・七%の大幅な伸びを示し、以下、坂井輪、鳥屋野、内野の順に伸びています。一方、減少地区では、本庁・関屋・入舟の三地区で減少人口の九七%を占めており、新潟島の減少が目立ちます。

また、三十五年の数字と比べても、本庁地区の激減、坂井輪地区の激増が浮かび上がり、人口が市中心部から周辺部へ移動していることがうかがわれます。

人口の上位5地区の推移

（単位：人）

	1位	2位	3位	4位	5位
35年	本庁 80,338	沼垂 52,283	山の下 35,992	関屋 35,655	入舟 26,865
45年	沼垂 60,558	本庁 58,304	山の下 43,090	鳥屋野 42,580	坂井輪 40,327
55年	坂井輪 73,886	沼垂 60,148	鳥屋野 56,448	山の下 46,659	本庁 42,486

35～55年の人口増加率

石山	80.6%
坂井輪	43.1
大形	21.9
鳥屋野	21.8
曽野木	16.3
内野	13.8

人口構造

増加する老年人口 5年で27.5%の伸び

a 男女別

男女別でみると、男二十二万四千五百二十三人、女二十三万三千二百六十二人で、女性の方が八千七百三十九人多くなっています。

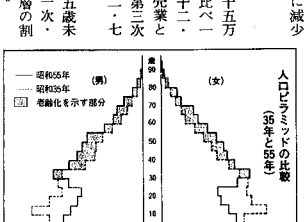
b 年齢別

人口を、年少人口（零～十四歳）、生産年齢人口（十五～六十四歳）、老年人口（六十五歳以上）に分類すると、五年間の伸び率が、年少人口四・六%、生産年齢人口七・四%であるのに対し、老年人口は二七・五%（七千八百八十五人増）と高い伸びを示し老年人口の増加が著しくなっています（**左表参照**）。

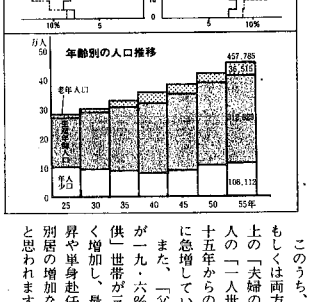
また、生産年齢人口の内訳をみても、中・高年層（三十～六十四歳）の割合が増加しています。

そして、生産年齢人口の増加率が鈍化する中で、年少人口と老年人口が増加しているため、生産年齢人口の扶養負担が上昇しています。

人口ピラミッドの比較（35年と55年）



年齢別の人口推移



世帯状況

1世帯 3.21人

普通世帯の平均世帯規模は一世帯当たり三・二一人。毎回減少傾向にありますが、若干鈍化しつつあります。

世帯人員の順位は、①四人世帯②三人世帯③一人世帯④二人世帯＝となり、四人世帯以下だけで、全体の八一・四%（十一万二千四百六十九世帯）を占めています。

一般に少人数世帯の増加が著しいですが、従来減少もしくは横バイ状態だった五人、六人世帯が増加傾向を示し、注目されます。

老人世帯急増

六十五歳以上の老人親族のいる世帯は約二万七千五百世帯（普通世帯総数の一九・九%）。この割合は次第に上昇してきており、新潟市の人口構造の老齢化の現れと言えます。

このうち、夫婦いずれかしくは両方とも六十五歳以上の「夫婦のみの世帯」と老人の「一人世帯」は、昭和四十五年からの十年間で約二倍に急増しています。

また、「父親と子供」世帯が一九・六%増、「母親と子供」世帯が三二・八%と大きく増加し、最近の離婚率の上昇や単身赴任などによる夫婦別居の増加などの要因があると思われます。

産業構造

第三次産業就業者70%

a 労働力人口

新潟市の十五歳以上人口三十四万九千三百三十八人のうち、労働力人口は二十二万三千七百十一人で、労働力率（十五歳以上人口に占める労働力人口の割合）は六四・〇%です。

労働力人口は戦後一貫して増加してはいるものの、四十五年までの二ケタの伸び率は見られず、低迷しています。

b 産業構造

新潟市の就業者数を産業部門別にみると、第一次産業が四・五%、第二次産業が二五・四%、第三次産業が七〇・〇%を占め、従来からの第三次産業中心の就業構造が強まってきていることがわかります（**下表参照**）。

◉第一次産業就業者

農業就業者数は九千二百七十八人で、前回に比べ八百七十五人、八・六%の減少になりましたが、減少傾向はやや鈍化の兆しがみられます。

農業就業者の年齢構成は、十五～二十四歳の占める割合が四・二%と非常に低いうえ、前回と比べた減少率は五二・〇%にもなっています。逆に高年齢層は増加しており、農業就業者の高齢化が進んでいると言えます。

◉第二次産業就業者

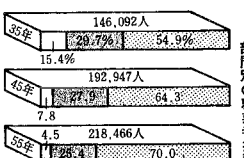
第二次産業就業者は五万五千五百三十四人で、製造業三万二千二百九十七人、建設業二万二千八百十五人、鉱業三百四十二人。特に製造業は前回に比べ三千三百七十八人（九・五%）減と大幅に減少しました。

◉第三次産業就業者

第三次産業就業者は十五万三千十八人で、前回と比べ一万六千八百五十一人、十二・四%の増加。卸売・小売業とサービス業の二業種で第三次産業全体の増加数の八二・七%を占めています。

年齢構成では、三十五歳未満が四二・八%で、第一次・第二次産業に比べ若年層の割合が高くなっています。

部門別の就業者推移



移動人口

昼間人口50万人台に

五十四年十月から五十五年十月までの一年間に現住居に移動してきた人の前住地をみると、他県からの移動者の割合が二三・五%を占め、四十五年一八・三%と比べると大幅に増加しました。

a 昼間人口

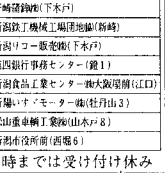
新潟市の昼間人口は、就業者の流入増により、五十万一千四百一人（八・三%増）と五十万人の大台に乗りました。

b 流入人口

新潟市への流入人口は五万四千九百四十八人で、このうち就業者が四万七千六百八十一人、通学者が七千二百六十七人となっています。

流入人口のうち就業者の常住地は①新津市②豊栄市③亀田町―の順で、特に豊栄市が前回に比べ二二・四%の伸びになっています。

気をつけよう"食道異物"!!



誤って異物をのどに詰まらせ受診する症例が結構あります。市民病院でも年に六、七人が異物除去術を受けています。

年齢的には五～六歳までの乳幼児と四十歳以上の大人に多くみられます。乳幼児例では硬貨やボタン、碁石等の身近にあるものを口に入れる場合がほとんどです。これらを手の届く所に置かないよう、保護者には十分注意してほしいものです。

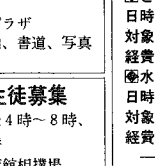
大人の食道異物で最も多いのは魚骨（あるいは鶏骨）です。誤嚥（誤って飲み込む）から日が経つと、食道周囲炎を起こし、治療もやっかいなものになります。たかが魚の骨くらいのことで頑張らず、早めに受診しましょう。

義歯や肉片も比較的多いし食道異物です。また、アルミはくで包まれた錠剤を、うっかりそのまま服用する場合もあり問題になっています。

すべてはちょっとした不注意が元であり、不愉快な思いや危険な目に遇わぬように心掛けましょう。

（新潟市医師会）

歳口モ一メ



松浜剣道少年団の申し込み日の変更

2月20日付市報にいがた3面掲載の少年団募集の記事中、松浜剣道少年団の申し込みが「**3月15日**午後6時半～7時に松浜小へ集合（保護者同伴のこと）」に変更になりました。

最新鋭油回収船「清龍丸」の一般公開（無料）

世界最大級の油回収装置を持つ最新鋭しゅんせつ兼油回収船「清龍丸」（3600㌧）の一般公開を行います。

日時 3月14日午後1時～4時

場所 中央埠頭先端

問い合わせ 第一港湾建設局（☎66―0111）　※希望者は直接現地へ

グリーンプラザ

ギャラリー使用者合同展

（入場無料）

期間 3月9日～13日

会場 東北電力グリーンプラザ

展示作品 日本画、油彩画、書道、写真など美術9部門の作品

新潟市相撲教室生徒募集

活動日時 毎週水曜日午後4時～8時、毎週土曜日午後3時～8時

活動場所 鳥屋野総合体育館相撲場

対象 新3年生以上の男子

団費 月200円

申し込み・問い合わせ 3月20日までに相撲連盟事務局・安宅政男（☎44―5022）へ

春休み工作教室

―県立自然科学館―

◉とり凧を作りましょう

日時 3月26日午前9時半～午後4時

対象 小学校5・6年生、中学生…30人

経費 850円

◉水と油で秒時計を作ろう

日時 3月30日午前9時半～午後2時

対象 小学校4～6年生、中学生…30人

経費 500円

◇

会場 県立自然科学館

申し込み 3月10日（消印有効）までに往復はがきに希望教室名、住所、氏名、年齢、学校名、学年、電話番号を明記して、自然科学館（〒950 女池字蓮潟東2010―15）へ。申し込み多数の時は抽選

献血車「ゆうあい号」

月日	時間	会場
3・7	午前9時～11時	千手製袋㈱新潟工場（山木戸1）
3・7	午後零時半～3時半	野崎醤油㈱（下木戸）
3・8	午前9時半～午後3時半	新潟鉄工機械工場（昭和町）
3・9	午前9時～正午	新潟トヨコー販売㈱（下木戸）
3・9	午後1時半～4時	第四銀行事務センター（鏡1）
3・10	午前10時～午後3時	新潟食品工業センター㈱大阪屋醸（江口）
3・11	午前9時～正午	新潟いすゞモーター㈱（牡丹山3）
3・11	午後1時～3時半	松山重車輌工業㈱（山木戸8）
3・12	午前10時～午後4時	新潟市役所前（西堀6）

※正午から午後1時までは受け付け休み

保健婦による老人出張相談

月日	会場	時間	対象
3・10	老人憩いの家「大江山荘」	午前10時～正午 午後1時半～3時	60歳以上
3・11	〃 「鳥屋野荘」	午後1時半～3時	